

保護者の皆さまへ

新型コロナウイルスの感染対策に係る臨時休業措置の中、日々教育行政への御協力をいただきありがとうございます。京都府教育委員会では「京都府教育委員会からの挑戦状」と題して、長期の学校臨時休業中に児童生徒の皆さんに取組んで欲しい課題を作成しました。

Society5.0 の到来は私たちの生活をより豊かに、より便利にしていくと考えられています。ただ、一方でAI技術の進展によって、私たちは知識量では太刀打ちできない状況になってきました。

そのような中、京都府教育委員会では「認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ」教育の推進を重点的に取組んでいます。この認知能力とは、知識の量や技能の習熟度など学力テスト・検査等により「数値で示すことが可能とされる力」のことを指し、非認知能力はコミュニケーション能力や自尊心、社会性など「数値で示すことが困難とされる力」のことを指します。今回の臨時休業措置が長引き、通常の授業が進められない中であっても、子ども達に知識や技能の習得と同じくらいに、コミュニケーション能力や自尊心、社会性などを身に付けることを通して**学び続ける力**を養うことが大切であると考えています。特に今回のようなこれまでに経験をしたことのないような事態に遭遇した場合は、過去の出来事を知っているだけではなく、それに対応し、新しいことを生み出すことが必要です。

そこで、その力を付けていくために、学校での教科の学びがどのように今後の生活に役立つのか、ということ意識した課題を作成しました。それが「京都府教育委員会からの挑戦状」です。

課題の作成にあたっては、知識をただ覚える作業になるようなものではなく、学びが将来どのように使えるか、ということ意識しました。ですから、課題の中には**答えが一つに決まらないもの**もたくさんあります。是非、保護者の皆さまもお子様と一緒に悩んでいただければと思います。

作成した課題を通して、子ども達が少しでも学びの価値や楽しさを感じて頂ければ嬉しく思います。是非、お子様の学びに御活用ください。